

名取のごみ処理に関する説明会概要

③増田西公民館

1 日 時 令和7年6月30日（月）19:00 ～ 20:30

2 場 所 増田西公民館 ホール

3 参加者

（1）市民20名

（2）朽木環境共創課長、石川環境共創課長補佐、小山主事

4 説明事項

（1）これまでのごみ行政について

（2）現在のごみ処理について

（3）ごみに関する名取市の取り組みについて

（4）最終処分場の機能と役割について

（5）質疑応答

<質疑応答（要約）>

（1）最終処分場の概要、選定過程などに関する質疑

Q1 最終処分場を5箇所に絞ったとのことだが、何年以内に決まる予定なのか。

A1 候補地の選定後に、地権者の方々との交渉と具体的な設計となり、そこから竣工するまでは少なくとも3～5年はかかると考えている。

Q2 クローズド方式の参考説明で15年間程度の利用とあったが、人口の増加が横ばい傾向である名取市は候補地で利用期間が変わるのか。

A2 名取市ではこれから、新しいエリアで開発が行われる計画があり、人口増加が見込まれている。

最終処分場は10万立米で15年程度という計画であるが、ごみの処分量が減少すれば長い期間利用できると考えている。

Q3 名取市の最終処分場が満杯になった場合はどうなるのか。

A3 名取市の次は山元町で最終処分場の建設をすることを2市2町で決めている。

Q4 現在稼働している最終処分場の実態を教えてください。

A4 岩沼市の最終処分場は現在も稼働しているが、容量的に焼却灰を埋め立てる余力がない為、焼却灰は組合が県外に搬出しており、委託料として年間約 1 億 8 千万円の費用が掛かっている。岩沼市の最終処分場では側溝汚泥や不燃物の残渣等を埋め立てている。

(2) ごみの分別に関する質疑

Q1 ボールペンの素材をプラスチックと金属等の素材別に分別したら、それぞれの収集日に出してよいのか。

A1 お見込みのとおりである。

(3) 集積所に関する質疑・要望

Q1 集積所は町内会で管理している箇所が多いが、10 戸程度の建売住宅が建った際に、町内会に加入されないケースも増えている。町内会に加入しないのであれば、町内会で集積所を管理する必要はないと思うが市の見解を伺いたい。

A1 町内会加入が望ましいと考えており、集積所 1 箇所ごとに清掃推進員を委嘱又は登録制で選任いただきたい。一方で、町内会で管理されていない集積所もあることから、個別に相談させていただきたい。

Q2 市民は名取市でごみの回収を行っており、町内会は関与していないと思っている方が多いと思う。集積所は町内会で維持管理をしていることを広報誌に掲載してほしい。

A2 6月広報誌でごみについての特集を組ませていただいた。町内会の多大なる協力により集積所の維持管理が行えていることから、機を見て、町内会の関りを周知・啓発させていただく。

(4) その他質疑・要望

Q1 清掃推進員の研修会で、焼却炉の見学だけではなく、プラスチックの手選別の見学も入れていただきたい。見学のコースに入れられないのであれば、上映してほしい。

A1 手選別をしている場所は環境センターの見学コースに含まれておらず、大人数での対応が難しい状況である。上映も含めて来年の研修内容は検討していく。

Q2 ごみの状況として、5 年で 7%減少しているとあるがどんな要因が考えられるのか。

A2 明確な分析は出ていないが、新型コロナウイルスや物価高の影響もあり、出されるごみの量が減ったと考えられる。資源物が増えてごみの量が減少する傾向が望ましいが、可燃ごみも資源ごみも減っている傾向にある。